

編集後記

『郵政博物館 研究紀要』第17号をお届けします。巻頭論文1本、特集6本、論文1本、研究ノート2本、調査研究報告1本、資料紹介2本、トピックス3本の構成で、創刊以来、最多の論考を収録しています。「逓信省創設140年特集」は、2025年9月に急逝した故・杉山伸也編集委員長が企画し、生前その実現に主導的な役割を果たされたものです。詳しくは、本誌中扉と杉浦勢之氏の論考をご覧ください。

杉山氏は郵政歴史文化研究会の発足した2008年から主査として第4分科会を率い、同分科会の研究テーマ「近代日本における通信と地域社会」の前進に尽力されました。本誌にはこれまで4本の論考^(※)を発表されたほか、2022年度からは本研究会の座長を務め、その運営改善にも精力的に取り組まれました。前号から掲載している「発行方針」等は、本誌の透明性や公平性をめぐる、同氏の鋭い問題提起を受けて整備されたものです。

本研究会顧問の石井寛治氏には、杉山氏への追悼文をご寄稿いただきました。本誌も杉山氏の遺志を受け継ぎ、郵政歴史文化研究の発展に一層力を尽くしていく所存です。

※「欧米人のみた幕末・明治初期の日本の郵便」（第3号、2012年）、「福澤諭吉と文明開化」（第10号、2019年）、「明治前期における郵便・電信事業収支統計の再検討」（第14号、2023年）、「逓信省財政と産業政策 1885～1940」（第16号、2025年）。

（編集事務局・倉地）

『郵政博物館 研究紀要』編集委員会

（編集委員長）

杉山 伸也（慶應義塾大学名誉教授）

藤本 栄助（郵政博物館特任研究員）2025年9月の杉山氏逝去から、翌年3月末まで代行。

巻島 隆（桐生市史編集委員会近世部会専門委員、伊勢崎市史編纂専門委員会近世部会専門委員）

新井 勝紘（専修大学文学部元教授）

杉浦 勢之（青山学院大学名誉教授）

杉山 正司（埼玉県立文書館元館長）

田良島 哲（東京文化財研究所客員研究員）

（分科会担当順）

〔郵政歴史文化研究会 顧問〕

石井 寛治（東京大学名誉教授）

山本 光正（交通史学会元会長）

〔編集事務局〕

田原 啓祐（郵政博物館主席学芸員）

倉地 伸枝（郵政博物館学芸員）

※本誌は一般財団法人ううちょう財団及び一般財団法人簡易保険加入者協会の寄付を受けて発行しています。

※本誌は郵政博物館ホームページでも公開しています（<https://www.postalmuseum.jp/publication/>）。

郵政博物館 研究紀要 第17号

印刷 令和8年3月23日

発行 令和8年3月25日

編集 『郵政博物館 研究紀要』編集委員会

発行 公益財団法人 通信文化協会 博物館部（郵政博物館資料センター）

〒272-0141 千葉県市川市香取二丁目1番地16号

印刷・製本 勝美印刷株式会社